



山梨県流通センターニュース

編集・発行 協同組合山梨県流通センター（中央市山之神流通団地2-6-1）
TEL (055) 273-4711 FAX (055) 273-4713



▲新年互礼会であいさつする栗山理事長

新年互礼会 組合50周年の意義を強調

次の50年に向けて協力呼びかけ

当組合の新年互礼会は、2023年1月6日（金）流通会館展示場で開かれ、組合員・来賓合わせて約60人が出席した。今年も、新型コロナウイルス感染症対策のため、式の内容を簡素化し、来賓者は山梨県、中央市の代表者のみお呼びした。

冒頭、栗山理事長は2022年を振り返り「昨年は組合の事業として、新型コロナワクチン3回目の職域接種を行い、集団健康診断や総合防災訓練等を例年通り行った。しかしなんといっても組合創立50周年記念式典を11月に挙行し、多くの皆様にお集まりいただき盛大に開催することができた。

これからは新たな50年に向けて、新しい組合会館の構想も完成している。水害や地震といった災害を考えると、組合の安全安心のために、不可欠なものと捉えている。また、本年は理事役員改選の年である。5月の総会で人事が一新されるため、次の50年に向けて新たに選出される役員と共に組合発展のため、変わらぬご理解とご協力を頂戴したい」と述べられた。

来賓として、山梨県産業労働部次長 有泉清貴氏、中央市長 望月智氏から祝辞をいただき、参加者全員で新年を祝い合った。

60人が参加して防災訓練

可搬式消防ポンプも使用



第5回総合防災訓練が、2022年11月29日（火）午前8時50分から、流通会館北側の中央駐車場で行われた。参加者は細田総務委員長をリーダーとしたBCP対策チーム、組合員、甲府南消防署田富出張所員、県立防災安全センター職員、事務局合わせて約60人となった。

訓練は震度5強の地震が起きたことを想定し、細田総務委員長による災害対策本部設置アナウンスがあり、中央駐車場に災害対策本部を設置。組合員が集合したところで開会式を開き、訓練が始まった。

組合員は水消火器による初期消火訓練と煙体験ハウス

を使用した火災時の移動の仕方について消防署員から指導を受け、続いて県立防災安全センターの地震体験車を使い、震度6までの地震を体感した。

また組合では2022年5月に導入した、消火・排水対応の可搬動力消防ポンプを使用した放水訓練を実施。参加者のうち10人が体験し、消防署員に支えられながら、消防ホースの使い方について学び、訓練は終了した。



定例懇談会 労働関係法等改正、「ごまの効用」について学ぶ

2人の講師の講演を聴く

定例懇談会は2023年3月2日（木）に開かれ、組合員38人が出席し、講演が行われた。第1部は、顧問社会保険労務士の雨宮隆浩氏による「令和5年以降の労働関係法等の改正について」第2部はサントリーコーポレートビジネス(株)東日本支社 営業3部 専任部長 大野豊氏による「睡眠健康セミナー - 若々しいからだづくりのための知識・生活習慣などの紹介」の2部構成で行われた。

第1部の雨宮氏からは最近の労働関連から気になるポイントとして、2023年4月から雇用保険料率の引き上げや、月60時間を超える時間外労働の割増賃金率の引き上げ、2024年4月1日と2026年7月1日に段階を踏んで障害者の法定雇用率の引き上げなどについて解説された。また、岸田内閣総理大臣の施策方針演説により、

持続的な賃金の上昇のための「日本型職務給」という概念が提起され、6月までにモデルを示されるとの情報提供がなされた。

第2部に移り、大野氏は睡眠の質向上について『ごま』が大きな役割をもつと解説された。人間は呼吸から取り込まれる活性酸素の影響により細胞が酸化し、老化や生活習慣病の原因（サビ）となる。また睡眠に必要なメラトニンは酸化に弱く、年齢とともに減っていくため深い眠りにつくことが難しくなるという。大野氏はこのサビを取り除くために抗酸化作用のある食品をとることが大切であり、特に酸化に強い『ごま』を積極的にとることを推奨した。ただし、『ごま』は堅い殻に覆われているため、すりつぶすなどして摂取するとよいと語り、講演を終了した。



労働関係法等改正について講演する雨宮講師

映像を使いながら講演した大野講師



団地再整備
特別委員会

会館新築へ向け検討進む

各課題を精査し、組合の発展を目指す

団地再整備特別委員会（中込裕委員長）は、2021年8月から2022年12月まで卸商業団地機能向上支援事業を活用し、①2019年に検討を行った組合会館の新築移転計画による中央敷地の有効活用②組合既存建物のアスベスト調査と対策③災害に対する取り組み強化と地域の連携の確認について検討を進めた。

委員会は組合員12人、外部専門家・オブザーバー22人、コンサルタント6人により構成され、全9回開き、理事会報告を1回行った。先進団地視察調査として2019年の台風19号による水害を受けた協須賀川卸センターと台風15号による浸水被害を受けた協横浜マーチャングインディングセンターを視察し、再建方法、災害対策強化等について情報を得た。

検討を進めた結果①中央敷地についての有効活用として、組合員を対象にヒアリング調査を実施し、A案



（展示場を残し、駐車場を整備）B案（流通会館を全て解体し、駐車場を整備）C案（立体駐車場を作り、一部を事業用地として賃貸借）の3案が出された。3案について外部専門家から耐震性のハード面や、テナント誘致、駐車場ニーズのソフト面の意識について指摘され、各課題の解消を含め再検討をすることとなった。

②組合既存建物のアスベスト調査を行った結果、組合所有の建物5箇所にアスベストが含まれていることが分かった。含有する箇所により、処理工法・費用が異なるため、現時点で可能な方法を調査し、今後の改修解体の参考とした。

③災害に対する取り組み強化と地域の連携として、新組合会館に再生エネルギーの地中熱を利用する方法を検討し、『地中熱』『ガス』『電気』の空調システムの比較を行った。各システムのメリット・デメリットがあるため、新組合会館に適したシステムを採用する必要があるとした。さらに地域の連携として、山梨県と中央市の担当者より各自自治体で行われている防災対策の説明を受け、組合災害対策の参考とした。

以上の調査結果から、更なる課題が生まれたため、今後も組合の発展に向け検討を進めていくとし、令和3年度団地再整備特別委員会は令和4年12月14日をもって終了した。

社会保険
実務講座

基礎から法改正までを聴く

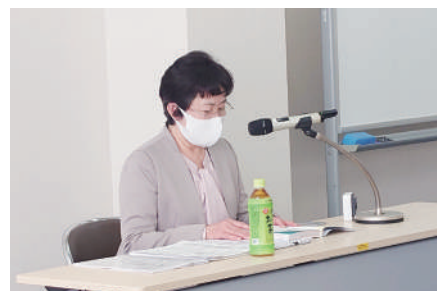
各講師が専門分野を解説

社会保険実務講座が2023年2月1日（水）8日（水）15日（水）22日（水）の4日間にわたり、流通会館で実施され、組合員3社5人が参加した。

講師は各テーマに分けて、労務管理基礎、社会保険手続きに関しては内田美幸社会保険労務士にお願いし、安全衛生は押切貴之社会保険労務士、各種保険給付

活用については今澤智子社会保険労務士が解説を行った。

各講師は得意分野について、基礎的な知識から最新の法改正に関する事など、煩雑になりやすい社会保険手続きを幅広く説明され、受講者たちは自社の労務管理の状況を振り返りながら、社会保険実務について改めて学習した。



▲ 講演をする 左から 内田講師、押切講師、今澤講師

阪神総合卸商業団地協同組合を視察

倉庫、運輸協同組合と連携光る

当組合の理事・役員・事務局（13人）は、2023年3月10日～12日の日程で兵庫県西宮市の阪神総合卸商業団地協同組合を視察・研修した。阪神総合卸商業団地の並河俊夫専務理事、福本博監事、吉田憲太参事に対応していただいた。同組合は、1973年3月に設立し、卸売団地として今年創立50年を迎えた。

団地の総面積は35万㎡であり、組合員数は57社が加入している。また、中国自動車道の西宮ICが隣接し、交通や産業の要衝として重要な役割を果たしている。同組合に隣接して、阪神団地倉庫事業協同組合、阪神流通センター運輸事業協同組合があり、3つの組合の連合体として、阪神流通センター協同組合連合会を組織して活動をしている。



▲ 阪神総合卸商業団地(協)役員との意見交換

共同事業は、環境整備事業（組合統一社名看板の刷新・放置自転車の撤去・ゼロエミッションへの取組）、教育情報事業（各種研修の実施・中小企業大学校派遣研修等）、

共同駐車場運営（205台収納可能）、高速道路事業（ETCコーポレートカード）、物品斡旋事業（医薬品）等である。組合の財務内容は健全であり、資本準備金等の余剰資金にて、有価証券の運用を行うことで、配当収入を計上している。そのほか、組合員の土地・建物の売買については、所有権移転請求権仮登記を設定し、必ず組合が売買に関与する方法を取っている。さまざまな事業についての話をお聞きすることができ、大変有意義な視察となった。



▲ 阪神総合卸商業団地(協)と(協)山梨県流通センター役員の訪問記念写真

「常に腹ペコで、学び続けよう」と呼びかけ

栗山理事長新入社員研修会で激励

新入社員研修が、2023年4月6日（木）、7日（金）の両日、流通会館で開かれ、団地内企業6社から10人が参加した。

開講式で栗山理事長はスティーブ・ジョブズの『stay hungry, stay foolish』について触れ「社会に出ると学生時代よりも学ぶべきことが多くなる。どのように学ぶべきかヒントを伝え、スティーブ・ジョブズが語ったように、常に空腹で常に愚か者であるように意識することである。また、一見関係のない内容を学んでいたとしても、人生のどこかで点と点がつながり実を結ぶこともある。それを信じて、新入社員研修会で基礎をしっかりと学んでいただきたい」と語った。

講師は、(株)学宣の鬼塚啓介先生。受講生たちは身だしなみやお辞儀の仕方等のビジネスマナーをはじめ、ビジネス話法や電話応対、仕事の進め方等を学んだ。敬語の使い方について苦戦しつつも、これからの社会

生活のために一生懸命学習していた。

実践的な研修に、受講者からは「実際にグループでの電話応対や名刺交換などを行うことで、実務でも活かしていける生きた知識を得られた」「グループでの作業もあり、相談しながら学ぶことで、意見や考えが深まった」等の声を聴くことができ、同じ立場の新入社員と交流を深めた有意義な研修となった。



▲ 新入社員10人を迎えて開かれた研修

新入社員紹介（7社21人が仲間入り）

氏名 会社名 趣味							
	青木 諒 株オオキ サイクリング	中村 美和 株オオキ ライブに行くこと	加納 佑真 甲信商事株甲府支店 釣り カメラ	淡路 佳奈 甲信商事株甲府支店 旅行	望月 湧輝 株甲府情報システム ゲーム	石原 海輝 株システムインナカミ 筋トレ	清水 木の实 株システムインナカミ 絵を描くこと
チャレンジしてみたいこと	全国の水族館めぐり	県外のフェスに行く	ゴルフ	海外旅行	資格取得	筋肉をつけて 痩せたい!	経験したことが ない様々なこと
氏名 会社名 趣味							
	松野 滉大 株日医工山梨 走ること	有賀 タケル 株羽中田自動車工業 スポーツ 服集め	石黒 大樹 株羽中田自動車工業 ゲーム ドライブ	伊東 海星 株羽中田自動車工業 筋トレ	権正 大雅 株羽中田自動車工業 サウナ	清水 春希 株羽中田自動車工業 サッカー観戦 アニメ鑑賞	保竹 瑛良 株羽中田自動車工業 愛車でドライブ 温泉
チャレンジしてみたいこと	人脈を広げる	1人暮らし	御朱印巡り	サーフィン	10kgダイエット	ゲームの自作	お弁当作り
氏名 会社名 趣味							
	乙黒 亜瞳 株羽中田自動車工業 音楽を聴くこと 映画鑑賞	金子 真己 株羽中田自動車工業 音楽を聴くこと お笑いを見ること	斉藤 杏奈 株羽中田自動車工業 韓国ドラマ鑑賞	田中 愛梨 株羽中田自動車工業 遠出	有岡 裕二 株渡辺商店 ダンス	櫻本 圭衣 株渡辺商店 カフェ巡り	高見沢 茉美 株渡辺商店 パン屋巡り
チャレンジしてみたいこと	国内旅行	自炊	富士山に登って みたい	海外旅行	新商品の営業を したい	新商品の開発を したい	新商品の発掘を したい

新入社員10人が交流

ウェルカムパーティー4年ぶりに開く

新型コロナウイルス感染症のため、4年ぶりの開催となった第7回新入社員ウェルカムパーティーが、2023年4月7日（金）に山梨グランドホテル シュヴァルプランで開かれ、6社10人が参加した。参加者たちは組合が行っている事業について簡単に触れつつ、同じ新入社員同士で懇親を深め合った。

研修についての話やそれぞれ入社した会社についての話、悩みについてなど話は尽きることなく続き、企業の垣根を越えた交流のできる新入社員ウェルカムパーティーとなった。



▲ 活発に話し合う新入社員たち

乳がん検診 早期発見目指し147人受診

定期的な自己検診を推奨

乳がん集団検診は2023年2月21（火）、22日（水）の両日、流通会館で実施された。健診機関は甲府市医師会に依頼し、マンモグラフィ検査（1方向／2方向）とエコー検査を合わせて33社147人が受診した。

乳がんは40～50代女性のがん死亡原因のトップであり、毎年約14,000人の方が乳がんで亡くなっているという。しかし、早期発見・早期治療を行えば生存率の高いがんであるため、定期的な自己検診（自己触診）が推奨されている。当組合でも年に1度乳がん集団検診を行っているため、自身の健康のため是非とも受診いただきたい。

脳卒中、肺がんを防ごう

各種検査合わせて29人が受診

当組合は、頭部MRI・MRA、肺CTの検査を2023年2月6日（月）から3月27日（月）の毎週月・金曜日の計13日間、山梨県厚生連健康管理センターで実施。頭部MRI・MRA、肺CTを13社29人が受診した。

頭部MRI・MRA、肺CTを受けることで、三大疾病である脳卒中（くも膜下出血含む）・肺がん（治癒できる小早期肺がん）の検出やリスクを見つけることができるため、リスクを避けるためにも、定期的に検査を受診いただきたい。

全国卸商業団地企業年金基金よりお知らせ

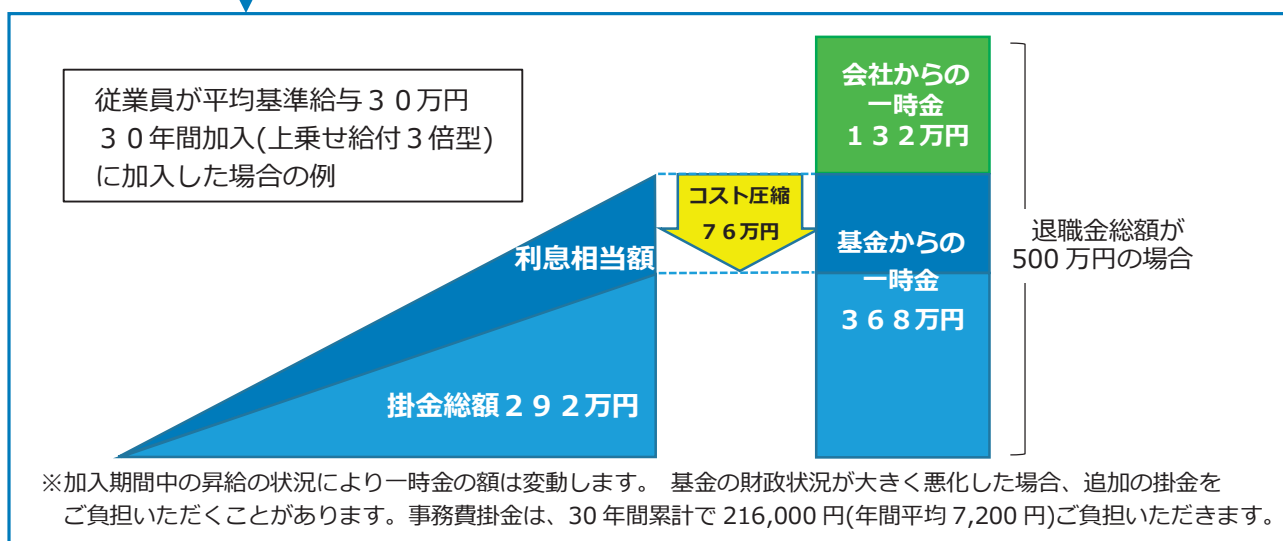
退職金の積み立てに確定給付企業年金を活用してみませんか

- ▶ 掛金は**損金算入**できます。
- ▶ 平準的に積み立てることで**資金繰りが安定**します。
- ▶ 従業員が給付を受ける際には、**退職所得控除**もしくは**公的年金等控除**が受けられます。
- ▶ **新規加入年度の翌々年度まで事務費掛金が半額**です。
- ▶ 退職金積立の**コスト負担が軽減**できます。

当基金では、加入者毎に仮定の個人勘定を設け**掛金に1.5%(複利)の利息を付与**しています。

退職金規程で、規定する退職金総額に当基金から受け取る年金や一時金を含む旨を定めれば、

利息相当額分の退職給付コストを圧縮することができます。



詳しくは「**全国卸商業団地企業年金基金**」まで ☎03-3560-7017 東京都港区赤坂5-1-31

九州旅行2泊3日の旅

2019年センターでバザール当選者から感想文届く



▲ 旅行のメインイベント軍艦島

「第20回センターでバザール」のビンゴ大会で1等景品が当たり、2023年2月26日～2月28日の日程で九州旅行に行かせていただきました。本来は台湾旅行でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3年越しで行き先を変更し、やっとなり行くことができました。協山梨県流通センターのおかげで楽しい旅行となりました。ありがとうございました。

[1日目] 朝、羽田空港を出発し11時頃に長崎に到着しました。バスで長崎駅に移動し、そこから平和記念公園や眼鏡橋などを回り、新地中華街で「ハトシ」や「ちゃんぽん」を食べました。

電車や路線バスも使いましたが、歩く事も多く、1日で2万歩くらい歩いていました。

ホテルのすぐ側には長崎駅があり、夜にお土産を買いに行ったり、近くのスーパーに行って九州でしか売っていない調味料やだしを買いに行き、すごく便利でした！

[2日目] 初めての路面電車に乗り、オランダ坂方面で長崎の街を眺めながら大浦天主堂など回りました。その後は今回のメインイベント、軍艦島ツアーに参加しました。

晴天に恵まれ、波も穏やか、念願の軍艦島に上陸する事ができました！上陸できない事も多いようで本当にラッキーでした。船から見る軍艦島は圧倒的な存在感で感動です。上陸すると異様な廃墟の雰囲気にゾクゾクしました。夕方には新幹線かもめに乗り福岡に移動。

夜はもつ鍋と辛子明太子、あまおうパフェなど福岡の味を満喫できました。

[3日目] 最終日は太宰府天満宮に行きました。

残念なことに修復工事中で真正面から見る事はできませんでしたが、平日にも関わらず沢山の人で賑わっていました。周辺には食べ歩きができるお店が沢山あり、あまおう最中や明太おにぎりなど福岡ならではのものを食べ歩きました。福岡空港には早めに行き、ゆっくりお土産を見て、飛行機に乗りました。

3日間とも、天候に恵まれとても過ごしやすかったです。久しぶりの旅行で不安もありましたが、素敵な思い出が作れました。ありがとうございました。

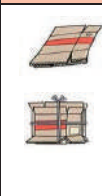
機会があればまた台湾にもチャレンジしてみたいと思います。

組合環境事業の取り組み

組合『ごみ・資源の分別マニュアル作成』

組合のごみ収集、リサイクル事業について、中巨摩地区広域事務組合からゴミ分別のお願いがあり、新たに『ごみ・資源の分別マニュアル収集日及び分類表』を作成し、2023年2月1日（水）から運用を開始した。

通常燃えるごみとして出していた軟質プラスチック系の分別方法が細分化されることや、紙類のほとんどはリサイクル資源として収集するなどの変更が行われているため、『ごみ・資源の分別マニュアル収集日及び分類表』を確認し、分別にご協力いただきたい。

毎日（月～金）			毎週水曜日	
もえるごみ	ペットボトル	ダンボール	軟質プラスチック各種	飲料缶
				
隔週第2・第4水曜日	リサイクルの日（毎月1回）			毎年1回
ビン	新聞・雑誌・パンフレット シュレッダー・その他雑紙 等			蛍光管
				

組員・準組員の脱退

企業名	組員、準組員別	代表者
シキシマ醤油(株) ※(株)シキシマへ 社名変更	組員	代表取締役 天野 袈婆富
(株)サン宝石 ※(株)聖和趣味の会サ ン宝石事業部へ	準組員	代表取締役 鈴木 伸也

組員・準組員の加入

企業名	組員、準組員別	代表者
武田グループ(株)	組員	代表取締役 武田 信彦
シキシマ醤油(株) ※武田食品(株)の子会 社として設立	準組員	代表取締役 武田 元彦

準組員変更事項

準組員名	変更前	変更後
国土防災技術(株)	支店長 藤井 雄次	支店長 桑原 勲
ユーシーシーコーヒー プロフェッショナル(株)	支店長 信田 佳代	支店長 織田 周平
パナソニックマーケ ティングジャパン(株) C S 社 首都圏社山 梨サービスセンター	パナソニックコン シューマーマーケ ティング(株)首都圏社 東京圏コンシューマ C S 事業部東京西エ リア 山梨サービス ステーション	パナソニックマーケ ティングジャパン(株) C S 社首都圏社山梨 サービスセンター

『事務局日誌』

～12～3月の主な会議等～

◆12月

6日	正副理事長会議
9日	北ブロック懇談会
12日	リサイクル・一斉清掃
14日	団地再整備特別委員会
15日	認定職業訓練校指導監査
16日	東ブロック懇談会
19日	青年部LoMAの会定例会
28日	仕事納め

◆1月

5日	仕事始め
6日	新年互礼会
6日	正副理事長会議
12日	リサイクル・一斉清掃
20日	理事会・役員新年会
23日	次期役員推薦委員会
27日	青年部LoMAの会定例会

◆2月

1日	社会保険実務講座（4日間）
2日	北部会
3日	南部会・南ブロック懇談会
6日	脳ドック、肺CT検査開始（3月27日迄）
7日	正副理事長会議
8日	東部会
9日	西部会
13日	リサイクル、一斉清掃日
21～22日	乳がん検診
22日	次期役員推薦委員会

◆3月

1日	北ブロック懇談会
2日	定例懇談会
7日	正副理事長会議
10～12日	役員視察研修（阪神総合卸商業団地協）
12日	リサイクル
16日	理事会（含む団地再整備特別委員会報告会）
17日	東ブロック懇談会
24日	青年部LoMAの会定例会

かいがね

毎年、春はいささか憂鬱である。冬が去って山は萌黄色に染まり、太陽はその光を増して本来なら心浮き立つ季節なのだが、私はそういう気分になれないことが多い。今日もそうだ。外に出る気分にはなれず、桜は満開を迎えているというのに花見に行く気にもならない。家に籠ってじっとしている日が続いている。

引き籠りではない。多くの方は既に御察しのことと思うが、要は「花粉症」のなせる業なのである。私が初めて花粉症を知ったのは40数年前、職場の同僚がしきりに鼻をかんだり目をこすったりしているのを見たのが最初で、彼が言うのに「自分は花粉症」とのこと。その様子を見て、当時の私は同情するよりもむしろ面白半分に「花粉症などと言って、カラダのどこかのネジが緩んで緊張感がたりないのだ」などと笑いの種にしていた。

その私が何と花粉症を発症したのはおよそ30年前。当時は東京勤務で、春になって妙に鼻水がでたりくしゃみが続くことがあり、初めは風邪を引いたかと思っていたのだが、どうも様子が違うことに気づき、まさかの花粉症を自覚せざるを得ない状況となった。

その後、山梨に戻って花粉症についていろんなアドバイスを受けることがあり、時々通っていた町立図書館の司書の女性、「花粉症には梅の花を2、3輪、そのまま飲み込むとテキメンです。私はそれで治りました」と言う。多少疑わしい気はしたものの、それで治るものならと思い、近くの梅の花を摘んで飲み込んでみたものの、一向に良くはならない。またある人は、木蓮の花を煎じて飲むと良いと言うがこれは試してみる気にはならなかった。

それやこれやのアドバイスの中で、近所の何人かが隣町の外科医院でよく効く注射があるという。医者のことだから間違いあるまいと行ってみる気になった。果たして待合室は同じような症状の人でいっぱいだ。順番が来て診察室に入ると、うつ伏せにさせられてズボンを下すように言われ、尻に注射された。驚いたことに、これが本当に効果抜群なのである。翌日ぐらいいからビタリと症状がなくなった。

そんなわけで、翌年もその注射を受けたのだが、ある日、向かいの旦那曰く。「あれはホルモン注射で、男性ホルモンに異常をきたす恐れがあるらしい」と言うのである。そんなことを聞くとそれ以上その注射を受ける気にはなれず、以来行くことはやめた。

結局、これという良薬にも巡り合えず、毎年掛かりつけの医者から効くかどうかははっきりしない内服、点眼、点鼻薬の処方を受けて、年によっては症状が軽いこともあるのだが今年は例年になく重い。目は痛いようにかゆくて熟睡できない夜もあり、鼻水は出続けゴミ箱はティッシュの山だ。

今は、花粉症のない人たちから同情されたり笑いの種にされたりして恨めしい限りだが、何はともあれこの季節が早く去ってほしいと思わずにいられない。それにしても、現代科学の力が特効薬の開発に至らないのは何とも情けない。

(M)